

Cisco ガードおよびトラフィック異常探知器パスワード リカバリ

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[表記法](#)

[ステップバイステップ手順](#)

[関連情報](#)

[はじめに](#)

このドキュメントでは、Cisco Guard または Cisco Traffic Anomaly Detector Distributed Denial of Service (DDoS) の緩和アプライアンスで root ユーザのパスワードを回復する手順について説明します。このパスワードは、Cisco Guard または Cisco Traffic Anomaly Detector システムへのルートアクセスを制御するために使用されます。ルートパスワードは暗号化されており、次の手順を使用して、新しいパスワードでのみ置き換えることができます。

[前提条件](#)

[要件](#)

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

[ステップバイステップ手順](#)

次の手順を実行します。

1. Cisco ガードまたは Cisco トラフィック異常探知器にキーボードおよびモニタを接続して下さい (このプロシージャはシリアルかネットワーク接続を通して実行されたことができません。)
2. **再度ブートする**をログインし、入力して下さい。
3. ボックスが作動している間、Shiftキーを押しておいて下さい。これは Lilo 「ブートを得ます:」プロンプト。
4. 利用可能なイメージが表示されるために **TAB** を押して下さい。注: より古いイメージに「

Riverhead」があるが、3.0.8に「Cisco」イメージがあります。

5. シングル ユーザにイメージをロードされる表示するために Cisco 1 を入力して下さい (またはより古いシステムの Riverhead 1)。これはシングル ユーザー モードでシステムを起動します。
6. ブートプロセスの間にパスワードを頼られます。固定パスワード dud&ndud を入力して下さい。これはルート シェルを与えます。
7. この場合ルートのパスワードを変更するためにパスワード コマンドを実行できます。、選択したパスワードを確認するように頼られますたとえば:

```
[root@DETECTOR root]# passwd
Changing password for user root.
New password: <new password typed in here>
Retype new password: <new password typed in here>
passwd: all authentication tokens updated successfully.
```

8. パスワードを変更した後、システムを再始動する reboot コマンドを実行して下さい。システムが正常な動作モードを開始するようにブートプロセスを割り込まないで下さい。

[関連情報](#)

- [Cisco Guard DDoS 軽減対策アプライアンス](#)
- [Cisco Traffic Anomaly Detector](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)